

課題名	顔面けいれんにおける顔面神経起始部周囲の解剖学的構築に関する研究 — 剖検脳所見および手術顕微鏡所見を用いた検討 —
	(1) 新規に導入される医療 (2) 保険診療の対象とならない医療 (3) 患者に不利となる可能性のある医療 (4) その他
研究責任者	宗本 滋

概要
<p>【研究の背景・目的】 顔面けいれんは、顔面神経と血管との神経血管圧迫に起因すると考えられており、微小血管減圧術が確立した治療法として広く行われている。 一方で、圧迫部位や形態には症例間で多様性があり、いわゆる root exit zone (REZ) のみでは十分に説明できない症例も存在する。 本研究では、剖検脳における顔面神経起始部周囲の解剖学的観察と、実際の手術顕微鏡所見を対比させることにより、顔面けいれんを脳の発育過程に基づく解剖学的構築の結果として再検討することを目的とする。</p>
<p>【研究方法】 本研究は後ろ向き観察研究であり、新たな侵襲や介入は一切行わない。 使用する資料は以下のとおりである。</p>

<p>1. 手術所見（術中写真・所見記録） 過去に施行された顔面けいれん手術症例のうち、申請者自身が術者として担当した症例に限定して用いる。</p> <p>2. 剖検脳写真（病理標本写真） 顔面神経起始部周囲の剖検脳標本について、病理診断目的で作製・保管されていた標本を、学術的観点から再検討する。 写真の多くは、当時、申請者自身が肉眼的、顕微鏡下に撮影したものである。</p>
<p>【個人情報および倫理的配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての資料は完全に匿名化され、個人が特定される情報は一切含まれない。 本研究は診療録および既存資料の二次利用であり、新たな侵襲や患者負担は生じない。 研究成果は学術目的に限定して使用し、営利目的での利用は行わない。
<p>【研究成果の公表予定】 本研究の成果は、個人が特定されない形で十分に匿名化したうえで、査読のある英文医学雑誌に原著論文として投稿・発表することを予定している。 営利目的での利用は予定しておらず、研究成果の公表は学術的・教育的目的に限定する。</p>

【他施設に関する補足（重要事項）】

本研究で使用する一部の資料は、申請者が過去に勤務していた他施設で得られたものも含むため、以下の対応を行う予定である。

1. 石川県立中央病院

申請者が術者として担当した手術所見の二次利用、および病理診断科に保管されている剖検脳標本写真の学術利用について、

同院病理診断科および関係部署に対し正式な利用許可依頼文を提出し、承認を得た上で使用する。

2. 医王病院

剖検脳標本の写真撮影および学術利用について、

同院に対して写真提供および学術利用に関する確認文書を提出し、承諾を得た資料のみを使用する。

これら他施設由来の資料については、各施設の判断および条件を厳守し、本倫理審査の承認を前提として使用する。

【利益相反】

申請者に開示すべき利益相反はない。

【研究責任者】

所属：金沢脳神経外科病院

職名：脳神経外科 副院長

氏名：宗本 滋

連絡先：石川県野々市町郷町 262-2

メール：munemoto@etude.ocn.ne.jp

以上の内容につき、倫理的妥当性をご審査いただき、
本研究の実施につきご承認を賜りたく、お願い申し上げます。